

2021年12月13日 聖書朝礼

「恐れるな。わたしは、民全体に与える大きな喜びを告げる。今日をダビデの町で、あなたの方のために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

～ ルカ 2.10～11～

全校の皆さん、おはようございます。

昨日はカトリックカレンダーでは待降節第3主日でした。皆さんもよく知っている通りに、待降節とはイエス・キリストの降誕を待ち望む期間のことで、ラテン語を語源とする英語は「アドベント」と言います。つまりクリスマスを待つ期間です。では、クリスマスのメッセージは何でしょうか。イエス様の誕生のメッセージは「あなたは本当に大切な人です」の一言ではないかと思えます。

わたしたちは自分の大切さを知っていますし、周りの人の大切さを知っています。しかし、昔も今もあまり変わりませんが、貧しい人や社会から疎外されている人、様々な理由で差別されている人、身寄りのない人など、言わば恵まれない人は自分が大切だと思うことが現実的になかなか難しいです。そこでイエスさまは、一番貧しいところを選んでお生まれになります。イエスさまの誕生を最初に祝う人として、イエスさまが一番貧しい羊飼いを選ばれました。イエスさまはその貧しいところと貧しい人を祝福し「あなたは本当に大切です」と伝えたのでした。私たちもこのクリスマスの時期、この恵まれた環境に感謝し、周りの人とこれから的人生の中で出会うすべての人に「あなたは本当に大切な人です」と伝えましょう。まずは隣の人ですね。では、今隣の人と席の前後の人と目を合わせて笑顔で「〇〇さん、あなたは本当に大切な人です」と言ってみましょう。言えましたか？良いと思うことを行動にうつすこと、これも本当に大切な事です。

皆さんは、スティーブン・コヴィー博士を知っていますか。彼の著作「7つの習慣」は世界的なベストセラーとして今世紀最も重要な自己啓発書となっています。彼は国王や大統領と意見を交わし、考えられる限りの手段で、何百万もの人々に影響を与える生き方の原則を教えました。しかし、この間驚きの記事を読みました。2012年に亡くなった彼が借金の返済が追いつかず倒産の経験があったという事でした。いや倒産したことそのことより、倒産後ある記者とのインタビューで話した内容にもっと驚きました。ある記者が倒産した理由を彼に聞いたら、彼は「私が倒産した理由は、私が書いたとおりに生きていなかったからです。」と言ったそうです。

どんなに良い内容だとしても行動・実践が伴わないと何にもなりません。先の話に戻ると、わたしが大切な存在で、あなたも大切な存在であることを言葉と行動で示していきましょう。その「あなた」としては自然やすべての命の事も言えますね。地球を大切にすることも忘れないようにしましょう。さらに、SDGsを勉強した皆さんは家庭で学校で何か地球のために出来ることを見つけて積極的に行動できるといいですね。例えば、紙はどうでしょうか、広告紙、チラシ、印刷物など、集めると資源になるものをゴミ箱にそのまま捨てていませんか？教室だけでなく恥ずかしながら、学校の印刷室で、職員室で無駄に使われている紙、分別されず捨てられている紙などには地球の一員として大人としても気を付けていきたいところです。

最後に先週の高3の学級日誌の内容を紹介します。「今日で、今週も終わりました。お疲れさまでした。私は最近たくさん勉強していると思っていたけど、全然足りていないことに気づきました。あと1ヶ月ちょっとで厳しいけど、まだ伸びしろはあるし、まだ時間はあると言いつけています。ポジティブに考えることは、受験の味方です。土日は時間があ

るから最高！と思って、週末もがんばりましょう。」と書いていました。受験勉強に励んでいる高3の皆さん、大変な時期を過ごしていると思いますが、全校を上げて応援します。頑張ってください。

